

テーマ：観光（実践校）

釧路管内 浜中町立茶内中学校

■本実践のポイント（概要）

・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、総合的な学習の時間において、遠隔会議システムや町内の施設等を活用し、地域における観光資源の成り立ちや魅力等について調査活動を行い、学習発表会で地域の方々に学習の成果を発表しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

「浜中町の魅力を再発見し、地域に向けてPRする」というテーマのもと、浜中町の観光に係る現状や課題等について交流した後、生徒一人一人が「湿原」「動物」「食べ物」「歴史・イベント」など、浜中町の魅力について探究する課題を設定しました。

(2) 情報の収集

課題の解決に向けて、町内の施設から関連書籍を借用したり、学校に保管されている町史に係る資料を活用したりしながら、必要な情報を収集しました。また、地域の企業に勤める方を外部講師として招聘し、遠隔会議システムを活用した講話を通して、浜中町の観光資源への理解を深めました。

(3) 整理・分析

PRの方法や内容について考え、「実現可能なもの」「宣伝効果が高いもの」等を視点として、思考ツールを活用し、収集した情報を分類したり関連付けたりしながら整理しました。

整理・分析の過程で、「時期」「場所」「対象」「内容」等が重要であることや、限りある観光資源の保全に努めながら活用することが大切であることなどに気付く生徒の姿が見られました。

(4) まとめ・表現

1人1台端末のプレゼンテーション機能を活用して、学習の成果をまとめました。その後、浜中町地域おこし協力隊、浜中町役場職員、町内の高校生を対象とした学習発表会において、学習の成果を発表し、講評をいただきました。

②生徒の感想

- ・身近で見られる動物をより深く知ることができた。また、浜中町の観光資源やその歴史、成り立ちに触れたことで、今後、自分たちが浜中町にどのように関わっていくかを考えることができた。
- ・今まで知らなかった浜中町のことを知ること、町の観光資源などに興味をもつことができた。もっと浜中町のことを知りたいと感じるようになった。



【自然を巡って観光の現状や課題を交流する生徒の様子】



【1人1台端末で情報を収集する生徒の様子】



【学習発表会で成果を発表する生徒の様子】

■取組の成果（○）と課題（●）

○ ふるさと教育・観光教育等に関するアンケートで、「今、住んでいる地域の歴史や自然について関心がある」と回答した生徒の割合が75%から85%、「地域や社会をよくするために何をすべきかをよく考える」と回答した生徒の割合が63%から80%にそれぞれ増加するなど、浜中町の魅力について探究する学習を行ったことにより、郷土への理解と愛着が深まったと考えられます。

● 総合的な学習の時間においては、外部講師など地域の人材が生徒の学びを深めるきっかけになると考えられることから、今後、浜中町における人的・物的資源をどのように活用できるのかを検討し、年間指導計画に位置付けていく必要があります。